



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,632	9.1	1,584	193.0	1,554	175.8	165	—
27年3月期第2四半期	10,662	△1.2	540	667.2	563	1,028.7	△114	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 26百万円(△99.9%) 27年3月期第2四半期 434百万円(46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	17.85	—
27年3月期第2四半期	△12.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	34,280	23,443	59.3	2,191.32
27年3月期	35,324	23,591	57.7	2,193.96

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,340百万円 27年3月期 20,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00			

(注) 通期業績予想を作成することが困難であるため、配当予想については開示いたしておりません。

3. 平成28年3月期第3四半期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	17,100	7.1	2,050	146.1	2,000	142.1	400	—	43.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であります。従いまして、当社グループの連結業績予想につきましては、翌四半期の業績予想のみを開示することといたします。詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期2Q	9,282,500株	27年3月期	9,282,500株
28年3月期2Q	145株	27年3月期	104株
28年3月期2Q	9,282,361株	27年3月期2Q	9,282,417株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(5) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の遅れにより生産活動が抑制される側面があったものの、円安や原油安により企業収益は好調に推移し、総じて穏やかに推移いたしました。海外においては、先進国は穏やかな景気回復が続く一方、新興国、特に中国経済の減速により、全体的な成長は鈍化傾向にありました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末関連分野及び車載関連分野の需要は堅調に推移しましたが、一方、PC及び民生機器向けの需要は伸び悩む状況にありました。

このような状況の下、当社グループの売上高は、メモリ事業・システムLSI事業とも前四半期に比べ増加し、特にシステムLSI事業のテスト受託においては、前四半期に続き過去最高となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は11,632百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益は1,584百万円(前年同期比193.0%増)、経常利益は1,554百万円(前年同期比175.8%増)となりました。四半期純損益につきましては、WLP事業の譲渡に関連する減損損失等として1,106百万円が発生したことなどから親会社株主に帰属する四半期純利益は165百万円(前年同期は114百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

①メモリ事業

当第2四半期のメモリ事業は、前四半期と比較して受託が堅調に推移すると共に、減価償却費の減少などにより、売上高、利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のメモリ事業の売上高は7,073百万円(前年同期比5.7%減)、セグメント利益は1,977百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

②システムLSI事業

当第2四半期のシステムLSI事業は、テスト受託は売上高が過去最高となり、WLP受託は既存顧客からの受注増により前四半期と比較して売上高は増加いたしました。生産ミックスの変化や減価償却費の増加により利益は減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のシステムLSI事業の売上高は4,392百万円(前年同期比42.6%増)、セグメント利益は259百万円(前年同期は567百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は34,280百万円となり、前連結会計年度末比1,044百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金は828百万円増加しましたが、有形固定資産が1,958百万円減少したことによるものです。

負債は10,836百万円となり、前連結会計年度末比896百万円の減少となりました。これは主に、設備投資のために長期借入金579百万円、短期借入金475百万円それぞれ増加しましたが、設備購入代金の支払等によりその他流動負債が1,260百万円、返済によりリース債務が531百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は23,443百万円となり、前連結会計年度末比148百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を165百万円計上しましたが、為替換算調整勘定が192百万円、非支配株主持分が138百万円、それぞれ減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は6,970百万円となり、前連結会計年度末比90百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,983百万円の純収入（前年同期比24.7%の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益507百万円、減価償却費2,664百万円、減損損失992百万円により資金が増加したものの、売上債権の増加904百万円、法人税等の支払354百万円、事業構造改善費用の支払411百万円によりそれぞれ資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,421百万円の純支出（前年同期比14.5%の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入247百万円により資金が増加したものの、有形固定資産の取得による支出3,672百万円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、622百万円の純収入となりました。これは主に、長期借入金による収入2,835百万円、短期借入金による収入700百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入965百万円によりそれぞれ資金が増加したものの、長期借入金の返済による支出2,085百万円、短期借入金の返済による支出160百万円、リース債務の返済による支出1,443百万円によりそれぞれ資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第3四半期における半導体市場につきましては、幅広い分野で減速感が強まっており、成長が鈍化するものと予想されます。

このような状況のもと、前四半期から比較して受託数量の減少と生産MIXの変化により、売上高が減少することと、支払修繕費などの増加を見込んでおります。

これらの結果、当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が17,100百万円、営業利益が2,050百万円、経常利益が2,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は400百万円と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,980,411	3,671,034
受取手形及び売掛金	4,407,704	5,236,074
有価証券	4,899,601	5,299,539
製品	36,093	53,109
仕掛品	209,823	261,950
原材料及び貯蔵品	135,390	177,588
その他	697,579	714,707
流動資産合計	14,366,604	15,414,004
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,728,421	11,985,990
その他(純額)	8,213,768	5,997,479
有形固定資産合計	19,942,189	17,983,469
無形固定資産	424,875	332,924
投資その他の資産		
その他	591,116	550,004
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	591,019	549,907
固定資産合計	20,958,085	18,866,301
資産合計	35,324,689	34,280,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,448,554	1,325,332
短期借入金	1,097,535	1,573,467
リース債務	2,200,501	1,486,969
未払法人税等	225,464	155,474
賞与引当金	510,974	491,607
事業譲渡損失引当金	-	114,559
その他	2,476,170	1,215,874
流動負債合計	7,959,200	6,363,284
固定負債		
長期借入金	2,067,973	2,647,126
リース債務	867,399	1,049,620
退職給付に係る負債	194,042	174,939
その他	644,180	601,448
固定負債合計	3,773,596	4,473,134
負債合計	11,732,796	10,836,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△3,326,324	△3,160,666
自己株式	△84	△128
株主資本合計	19,877,171	20,042,786
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	506,103	313,791
退職給付に係る調整累計額	△18,070	△15,947
その他の包括利益累計額合計	488,032	297,844
新株予約権	-	15,102
非支配株主持分	3,226,688	3,088,154
純資産合計	23,591,892	23,443,887
負債純資産合計	35,324,689	34,280,306

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,662,814	11,632,050
売上原価	9,040,294	8,859,471
売上総利益	1,622,520	2,772,578
販売費及び一般管理費	1,081,538	1,187,644
営業利益	540,981	1,584,933
営業外収益		
受取利息	4,387	3,805
設備賃貸料	29,181	28,687
貸倒引当金戻入額	19,787	-
その他	57,590	29,465
営業外収益合計	110,947	61,957
営業外費用		
支払利息	55,807	50,979
支払補償費	10,161	24,530
その他	22,538	17,288
営業外費用合計	88,508	92,798
経常利益	563,420	1,554,093
特別利益		
固定資産売却益	22,763	62,976
特別利益合計	22,763	62,976
特別損失		
固定資産除却損	1,692	3,018
減損損失	34,336	992,061
事業譲渡損失引当金繰入額	-	114,559
事業構造改善費用	296,823	-
特別損失合計	332,853	1,109,639
税金等調整前四半期純利益	253,331	507,429
法人税等	151,276	106,312
四半期純利益	102,054	401,117
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114,445	165,658
非支配株主に帰属する四半期純利益	216,500	235,458
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	327,951	△377,081
退職給付に係る調整額	4,552	2,123
その他の包括利益合計	332,504	△374,958
四半期包括利益	434,558	26,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,362	△24,529
非支配株主に係る四半期包括利益	377,196	50,688

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	253,331	507,429
減価償却費	2,800,583	2,664,890
減損損失	34,336	992,061
事業構造改善費用	296,823	-
株式報酬費用	-	15,102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△229,903	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,731	△19,103
賞与引当金の増減額(△は減少)	32,078	△7,230
早期退職費用引当金の増減額(△は減少)	△111,740	-
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	-	114,559
受取利息	△4,387	△3,805
支払利息	55,807	50,979
設備賃貸料	△29,181	△28,687
固定資産除売却損益(△は益)	△21,071	△59,957
売上債権の増減額(△は増加)	△548,494	△904,488
破産更生債権等の増減額(△は増加)	636,709	-
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,528	△117,774
仕入債務の増減額(△は減少)	230,927	261,287
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△83,737	△62,683
その他の流動負債の増減額(△は減少)	333,039	190,131
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△52,875	79,431
その他	27,864	105,171
小計	3,676,373	3,777,314
利息の受取額	4,103	3,883
利息の支払額	△54,189	△51,613
補助金の受取額	409,711	5,215
法人税等の還付額	-	15,093
法人税等の支払額	△74,853	△354,786
事業構造改善費用の支払額	-	△411,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,961,145	2,983,170
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△2,000,000
定期預金の払戻による収入	300,000	2,000,000
有価証券の売却による収入	500,000	-
有形固定資産の取得による支出	△3,012,290	△3,672,019
有形固定資産の売却による収入	36,434	247,458
無形固定資産の取得による支出	△36,428	△24,697
設備賃貸料の受取額	22,909	27,913
その他	△12,897	△126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,002,272	△3,421,470

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	205,818	700,000
短期借入金の返済による支出	△1,149,066	△160,000
長期借入れによる収入	1,835,126	2,835,466
長期借入金の返済による支出	-	△2,085,802
自己株式の取得による支出	-	△43
リース債務の返済による支出	△1,331,529	△1,443,710
セール・アンド・リースバック取引による収入	373,950	965,400
非支配株主への配当金の支払額	-	△189,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,701	622,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	55,990	△93,225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△50,837	90,560
現金及び現金同等物の期首残高	7,882,336	6,880,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,831,499	6,970,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,499,873	3,080,108	10,579,982	82,831	10,662,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,499,873	3,080,108	10,579,982	82,831	10,662,814
セグメント利益又は損失(△)	1,685,370	△567,182	1,118,187	△577,206	540,981

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△577,206千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△644,023千円、連結消去47,088千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額19,728千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

システムLSI事業

青梅事業所において、事業の構造改革に伴い廃棄する予定の固定資産について減損損失を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては110,385千円であります。

また、九州事業所において、当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては34,336千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,073,417	4,392,386	11,465,803	166,246	11,632,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,073,417	4,392,386	11,465,803	166,246	11,632,050
セグメント利益	1,977,701	259,132	2,236,833	△651,899	1,584,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△651,899千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△775,159千円、連結消去90,561千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額32,698千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メモリ事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては9,367千円であります。

システムLSI事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては12,999千円であります。

また、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡を決議したことに伴い、固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては969,694千円であります。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。